

# 雪印種苗の花卉の紹介

## はじめに

弊社はこれまで、生産者や消費者の皆様喜んでいただける花卉商材を目指し、開発を行ってきました。本稿では、弊社の花卉品種やその魅力を中心に紹介いたします。

## 1. 鉢物カーネーション

カーネーションは母の日の定番の贈り物として親しまれています。カーネーションには切り花用品種と鉢物用品種があります。弊社では鉢物用カーネーションの品種開発と開発した品種の苗生産を行っています。カーネーションは多年性の植物ですので、鉢物の場合は日当たりの良い場所に置くことで翌年以降も花を咲かせることができます。また、カーネーション品種の多くは四季咲きのため、うまく育

てることで一年中花を楽しむことができます。

弊社では様々な花色のカーネーションを取り揃えています。定番色である赤やピンクに加え、紫や黄、白といった多様な花色の他、2色咲きの品種や、時間の経過とともに花色が変化する変わり咲き品種などを用意しております。弊社カーネーションシリーズのラインナップとして、草丈が高めでボリュームがある「ロマンス®シリーズ」21品種、草丈が低めでコンパクトな草姿が特徴の「カリフォルニアシリーズ」17品種、鮮やかな赤色が特徴的な「Selected Scarletシリーズ」が6品種ございます。

毎年新品种をリリースしており、より良いカーネーションを提供できるように開発を進めています。是非、母の日に弊社のカーネーションをお買い求めください。(写真1～6)



写真1 ロマンス®シリーズ  
カンタービレ



写真2 ロマンス®シリーズ  
さくらもなか



写真3 ロマンス®シリーズ  
ルミナリア



写真4 カリフォルニアシリーズ  
いちごホイップ



写真5 カリフォルニアシリーズ  
ももりーな



写真6 selected scarletシリーズ  
インユアハート



写真7 組織培養シクラメン  
ファルファール



写真8 組織培養シクラメン  
ピエーノローザ®



写真9 組織培養シクラメン  
ビクトリアマーズ®

## 2. 組織培養シクラメン

冬の鉢花の女王とも称されるシクラメンは、秋から冬に開花する多年性の植物です。シクラメンはボリュームがある大鉢向けの品種やガーデン用のミニ系品種に加え、原種のシクラメンまで多様な品種が流通しています。

シクラメンは種子から育成したものがほとんどです。しかしながら弊社では葉から植物体を増殖し再生する、組織培養の技術により作られたシクラメン塊茎から、苗の生産を行っています。組織培養由来の苗の利点として、①遺伝背景が同一なため種子系に比べて品種内の均一性が高いこと、②種子系に比べ生育が旺盛であること、③種子系では育種の難しい品種を作出できること、が挙げられます。

③の例として、八重咲き品種のファルファールをご紹介します。一般に八重は潜性形質（劣性形質）です。種子で全ての個体が潜性形質を示すためには両親とも潜性形質でないといけません。ところがファルファールの八重はおしべが全て花弁に変化しています（花粉がでる八重咲き品種もあります）。そのため八重の親からは花粉を採種することができず、種子による増殖ができないという問題が生じて

しまいます。一方で組織培養では受粉を必要としないため、こういった品種の育成が可能です。

弊社は自社での育成品種に加え、国内の育種家が作出した品種の組織培養にも取り組んでおり、バラエティーに富んだシクラメン品種の提供を行っています。（写真7～9）

## 3. クリスマスローズ

クリスマスローズは屋外で越冬可能な宿根草で、鉢物や庭植えなどで栽培できます。花を咲かせる植物が少ない12月～3月に開花し、我々の目を楽しませてくれます。降雪地帯で庭植えをした場合は4月下旬から5月末にかけて開花し続けます。

弊社は学校法人八紘学園北海道農業専門学校が育成したクリスマスローズ「チェリッシュ®シリーズ」を取り扱っています。現在、花色が異なる6品種があり、これらは全て八重咲きの品種です。

最大の特徴は開花の速さです。クリスマスローズは播種から3年目以降に開花するのが一般的ですが、弊社のクリスマスローズはほとんどの場合、播種後1.5年で開花します。開花株はもちろん、苗でご購入いただいた場合も比較的早く花を楽しめますので、お試しになってはいかがでしょうか。（写真10、11）



写真10 チェリッシュ®シリーズ ブラック



ピンク

ブラック

ワインレッド

ホワイト

スポット

ピコティ

写真11 チェリッシュ®シリーズの花





写真12 フクシア ミスティホライズン



写真13 フクシア ミスティアルプ

#### 4. フクシア

フクシアは、ホクシャやボクシャなどとも呼ばれる多年生の花木です。その特徴的な花の形から貴婦人のイヤリングなどとも呼ばれます。

これまで弊社は学校法人八紘学園北海道農業専門学校と露地屋外で越冬ができるフクシアの共同開発を行ってきました。花卉が紫、がく片が赤色の品種を2品種育成し、2020年3月にフクシア2品種の品種登録出願をしました。こちらの品種は札幌市にある学校法人八紘学園の実習圃場や、北海道夕張郡長沼町にある弊社の北海道研究農場にて露地植えで越冬できることを確認しております。(写真12、13)

\*2020年7月時点ではこちらのフクシアは市場流通されておりません。

#### 5. 多芽性ユリ

ユリは多年性の球根植物です。冬季の低温に当たることによって休眠打破および花成誘導され、3月～4月(北海道では5月頃)に萌芽し、6月～8月に開花します。園芸種ではアジアティックハイブリッド

(スカシユリ系交雑品種)やオリエンタルハイブリッド、ロンギフローラムハイブリッド(新鉄砲ユリなど)やこれらの交雑品種が多く用いられています。食用ではオニユリやコオニユリなどがユリ根として利用されています。

弊社はユリの品種改良を進め、2020年3月にスカシユリ系3品種の品種登録出願をしました。通常ユリの茎は1つの球根から1本出てきますが、弊社の品種は一つの球根から茎が複数本出てくる多芽性形質を有しております。茎ごとに着花もするため花数が多く、株が豪華に見えます。(写真14～16)

\*2020年7月時点ではこちらのユリは市場流通されておりません。

#### さいごに

弊社の花卉品種をご紹介しました。また、本稿では紹介しませんでした。アジサイやダリアといった品種の取り扱いもございます。今後も新品种、新技術の開発に鋭意努めて参ります。弊社の品種をご自分用や大切な方への贈り物としてご利用いただければ幸いです。



写真14 多芽性ユリ イエローブローチ



写真15 多芽性ユリ サマーメモリー



写真16 多芽性ユリ ピクシーベル